

岡田禎子 （おのた てるこ） 劇作家、小説家。明治二十五年二月六日愛媛縣生れ（一九〇二）。本名禎子 （てるこ）。大正十二年東京女子大學卒。在學中から日本純文學會に入會。

著譯書『正子とその職業』（昭和五年七月）二行社送社「新銳文學叢書」）、『生活文化の方向』（合著・古谷綱武編、昭和十五年九月十七日名取書店）、『エドワード・ケツク著』『ナイティンゲール傳』（譯編、昭和十六年六月）二行主婦之友社「世界名作家歴史文庫」、戯曲『祖國』（昭和十七年四月十五日拓南社）、脚本集『隣組の守り外一篇』（大島萬世合著、昭和十七年五月十五日大日本産業報國會「職場の演劇」）、『短篇劇名作選』（合著・日本移動演劇聯盟編、昭和十七年十一月十五日協榮出版社）、『白の花』（昭和十七年十一月二十五日大阪・全國書房）、隨筆集『なごり』（昭和十八年七月）二行富子書店）、『軍人檢護文藝作品集・第二輯』（合著、昭和十八年七月）二行富子書店等。

